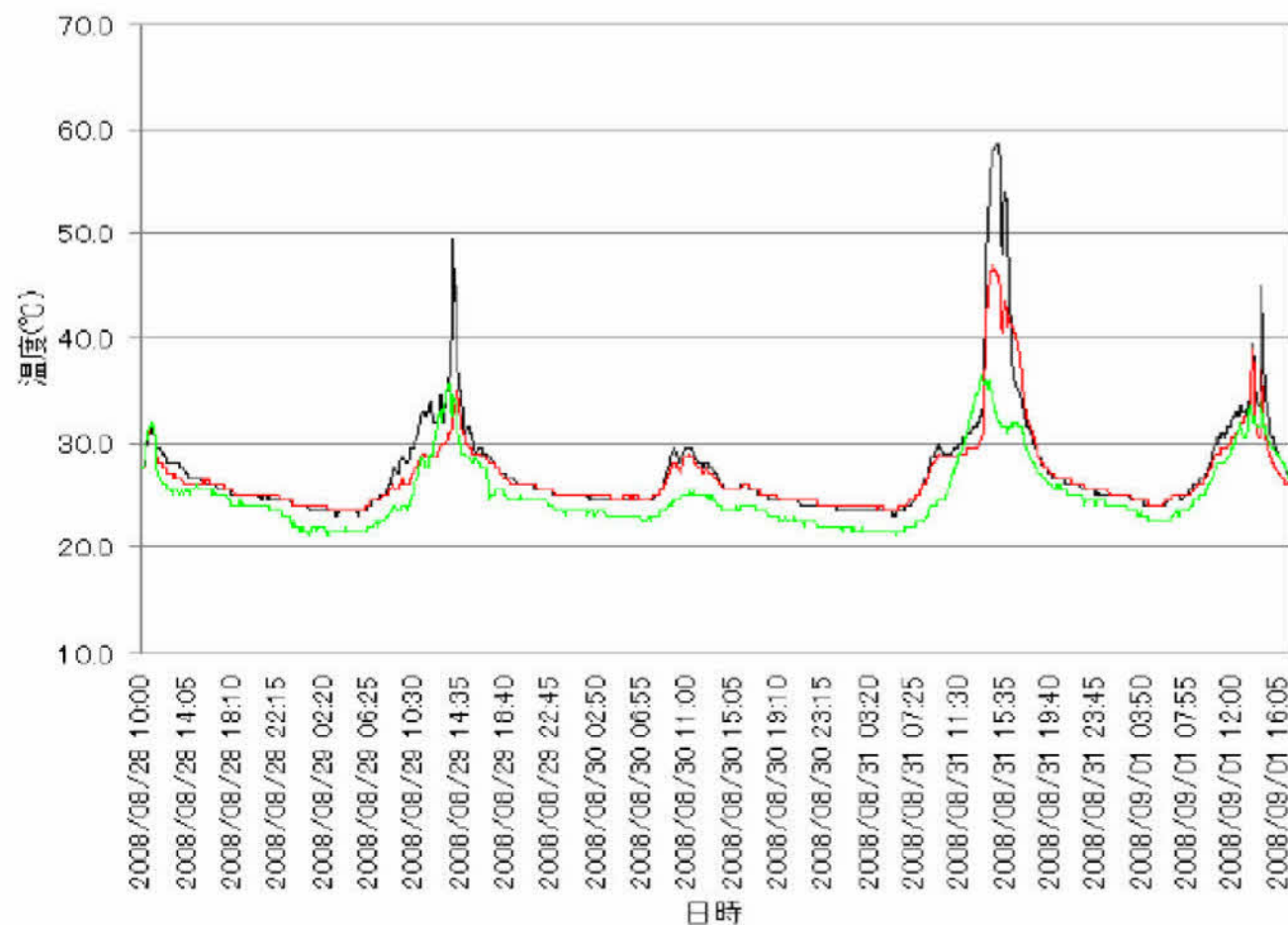


須坂市役所ガラスコート施工による温度測定資料



- ・ 施工場所：長野県須坂市役所 副市長室
- ・ 施工日時：2008年6月28日、7月5日の2日間
- ・ 温度測定：2008年8月28日10時～9月1日16時まで





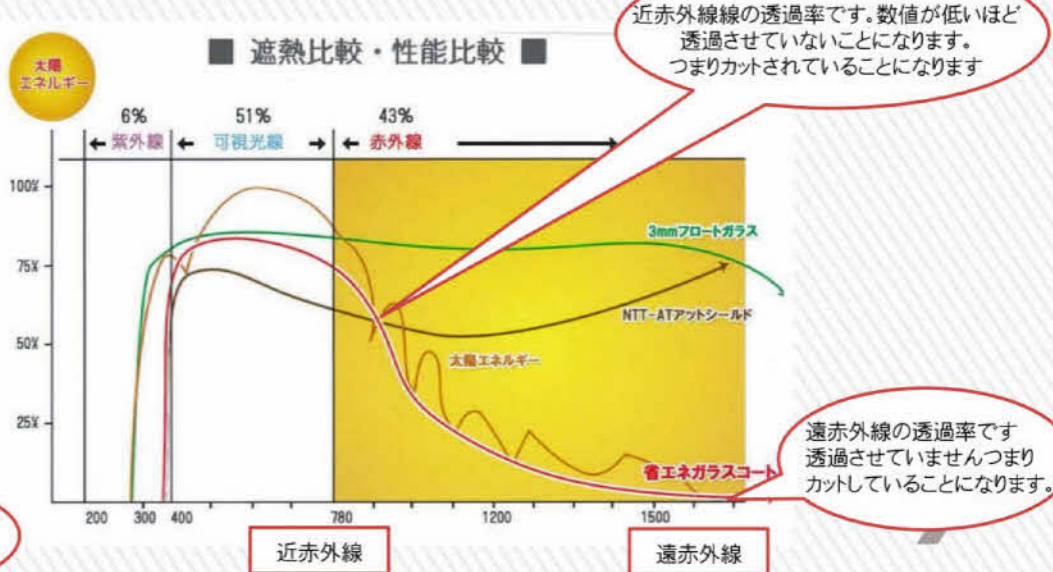
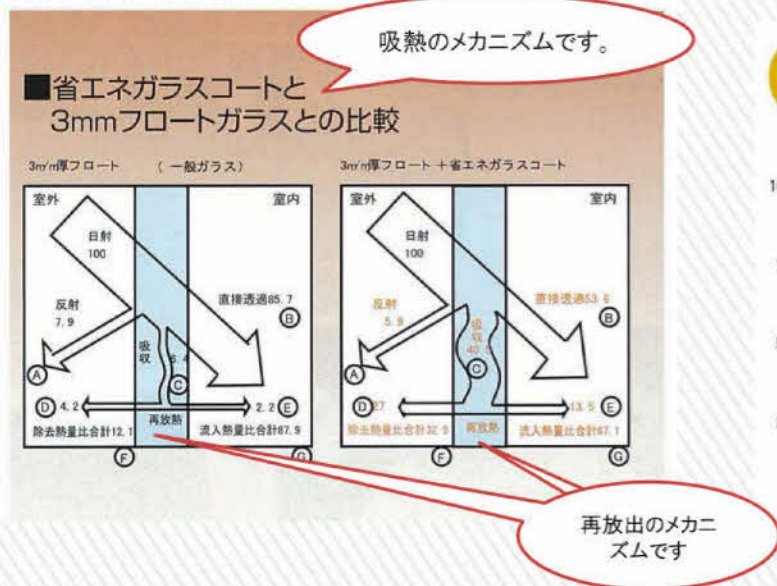
- 須坂市役所No.1 : 市長室 ガラスコート無し
測定位置 : ガラス面より4cm離れた直射日光のあたる位置(室内側)
- 須坂市役所No.2 : 副市長室 ガラスコート塗布
測定位置 : ガラス面より4cm離れた直射日光のあたる位置(室内側)
- 須坂市役所No.3 : 外気温 ※市長室、副市長室は同じ形状の部屋で、測定位置も同位置です。

ガラスコート遮熱のメカニズムについて

反射はほとんどなく、メインは吸熱として40%弱です。40%吸熱してそのうち3分の2を再放出してトータルで3割強遮熱しています。それでも直射熱は外気温30度以上の時、施工している窓としていない窓では5度～8度も差を作っています。

断熱について

夏の暑い日差しは近赤外線に該当します。近赤外線に対しては30%強のカットです。それと石油ストーブなど冬の暖房熱は遠赤外線です、これは90%カットしますので冬の暖房熱は窓から外にほとんど逃がさず魔法瓶効果で保温するといえるんです。



※数値が小さい値が近赤外線と呼ばれる領域です。大きくなるにつれ遠赤外線となっていくます。